

令和7年度 低入札価格調査制度運用状況一覧表

No	工事件名	開札日	調査対象者	入札価格 A	調査基準価格	予定価格 B	落札率 A/B	落札可否
1	銀座区民館及び銀座職員住宅ほか1か所 昇降機設備取替工事	9/1	中央エレベーター工業株式会社	75,500,000	80,400,000	113,100,000	66.8%	可
				(83,050,000)	(88,440,000)	(124,410,000)		

※ ()内は税込価格

低入札価格調査結果書

件 名	銀座区民館及び銀座職員住宅ほか1 か所昇降機設備取替工事
入 札 日	令和7年9月1日
入札者名	中央エレベーター工業株式会社
低入札価格調査 委員会の審査結果	審査対象者を落札者と ☒ する ・ ☐ しない
理 由	1 入札者概要 上記入札者は、エレベーター・昇降機の専門メーカーとして、官公庁や官公庁関連団体を主力取引先に、エレベーターの製造・据付工事・保守・修理までを自社の一貫体制で行っている。また、車椅子用階段昇降装置の実用新案登録及び特許、さらに、ステップリフトの商標登録を保有しており、他社との差別化を図っている。 2 関係資料及び面接による調査 応札内容について、低入札価格調査制度に基づく調査票による確認及び上記入札者の責任者等との面接による事情聴取を行い、以下の点を確認した。 ① 入札金額について (1) 複数の同種工事を施工した実績や経験を生かして社会に貢献するとともに、社員の施工能力の一層の向上に適した工事の受注機会として価格設定を行った。 (2) 本社を台東区に置き、埼玉県八潮市に工場を有していることから、23区内の工事は地の利が良く、資材の運送コスト等を安く抑える事が出来る。 (3) 材料費については、各取引先と長年にわたり培った取引関係により、原価を抑えた調達が可能である。 (4) 労務費については、国が示す公共工事設計労務単価（法定福利費含む）を上回る賃金として設定しており、下請けの労働者についても同額の労務単価としている。 (5) 自社による企画・設計・製造・販売から保守までの一貫管理体制であるため業務の効率が良く、現場管理費・一般管理費等の経費の削減が図れる。 ② 手持ち工事の状況について 現在、「中央区立八丁堀区民館等複合施設改築工事（昇降機設備工事）」、「がん予防・健康づくりセンター昇降機設備改修工事」、「都立芝商業高等学校（6）昇降機設備改修工事」の3件の工事を受注しているが、本件工事に専任する主任技術者及び現場代理人を確保できる体制にある。 3 経営内容及び信用状態の調査 長年の業歴を有するエレベーター・昇降機の専門メーカーとして、2024年5月期には過去最高益を更新し、財務面は堅調で、現在まで黒字基調を維持している。また、自己資本比率は業界平均を上回り、安定的な財務基盤が構築されているため会社経営に大きな懸念要素はないとされており、提出された財務諸表からも財務面及び運営面において特段の問題がないことが認められる。 4 調査結果 以上のことから、本件工事の契約内容に適合した履行が可能な入札者と判断できる。
決定日	令和7年9月9日